

会議の名称	平成28年度第3回八雲町介護保険事業運営委員会
日時	平成29年2月28日（火） 13時30分から13時55分
場所	八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ 第1・2会議室
出席者	委員16名（欠席5名）傍聴者0名
会議の処理、てん末	
○平成28年度第3回介護保険事業運営委員会	
1. 開会宣言	
<p>○保健福祉課長より</p> <p>本日は大変お忙しい中、本会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、委員の皆様方には日頃より町保健福祉行政の推進に対してご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>まず、開会にあたりまして岩村町長よりご挨拶申し上げます。</p>	
2. 町長挨拶	
○町長より開催にあたっての挨拶	
3. 議題	
<p>○保健福祉課長より</p> <p>これより先の議事につきましては、会長に進行をお願いします。</p> <p>○会長より</p> <p>今回はご案内の通り、平成28年度第3回八雲町介護保険事業運営委員会及び第2回八雲町地域包括支援センター運営協議会を併せて開催したいと思います。</p> <p>本日の会議の審議内容につきましては、八雲町情報公開条例各号に規定する非公開情報が含まれていないことから全部公開として開催したいと思いますので、よろしくご理解願います。</p> <p>《異議なし》</p>	
(1) 協議事項	
①第6期介護保険事業計画における地域密着型サービス事業者（小規模多機能型居宅介護）の公募について	
<p>○会長より</p> <p>3, 議題（1）協議事項にございます①第6期介護保険事業計画における地域密着型サービス事業者（小規模多機能型居宅介護）の公募について事務局より説明を求めます。</p> <p>○事務局より</p> <p>それでは、協議事項①第6期介護保険事業計画における地域密着型サービス事業者（小規模多機能型居宅介護）の公募についてご説明致します。</p> <p>このことにつきましては、平成28年度中の小規模多機能型居宅介護の整備を介護保険事業計画に位置付け、開設に向け事業者公募を予定しておりましたが、介護報酬改定等により町内ヘルパー、デイサービス事業所の利用収入状況が著し</p>	

く悪化している中、サービス内容が類似する新たな小規模多機能型居宅介護事業所の開設は、既存事業所への影響があまりにも大きいと判断し、昨年3月に開催されました介護保険事業運営委員会において協議いただき整備を見送ることとし、また、整備の時期については今後の事業所等の状況等を踏まえて改めて検討することとなっていたため、本日改めて資料等に基づき協議いただくものです。

それでは、議案1ページをご覧ください。

(1) 小規模多機能型居宅介護の概要であります。デイサービスを中心に必要に応じ、ショートステイや訪問介護を一体的に利用する事が出来る介護サービスになります。なお、小規模多機能型居宅介護を利用する場合、他の事業所の訪問介護やデイサービス等が利用できなくなります。

次に、(2) 第6期介護保険事業計画において小規模多機能型居宅介護の整備を予定した理由であります。計画策定時において、今後、高齢化率の増加に伴い要介護認定者のサービス利用者の増加も推測され、制度改正により特養入所が、原則、要介護3以上とされたことから、在宅生活を支え、住み慣れた地域で安心して暮らし続ける事が出来るよう、地域包括ケアシステムの要となるサービスとして小規模多機能型居宅介護の整備を計画致しました。

次に、八雲町における介護保険サービスの現状についてご説明いたします。別にお配りしております【別紙資料1】を併せてご覧ください。

【別紙資料1】の1ページ・2ページをご覧ください。高齢者人口の推移についてですが、平成25年度から平成28年度までは各年度の9月末現在の数値となっております。平成29年度以降につきましては、第6期介護保険事業計画の推計値となっておりますことから若干数値にひらきが生じている可能性が考えられますが、全体といたしまして総人口は年々減少傾向にあり、今後も減少することが見込まれ、高齢者の人口は平成28年度においては31.7%、平成37年度には35.6%に増加するものと推計されております。

続いて、3ページ・4ページをご覧ください。介護認定者数の推移であります。介護認定者数についても高齢化率の上昇に伴い、年々増加傾向にあり、平成28年12月末現在で1,054人の認定者となっております。認定率といたしましては、65歳以上の高齢者の19.2%となります。また、認定者のうち、介護サービス利用者については、若干伸びているものの全認定者数の75%弱程度にとどまり、推移しております。

続きまして、5ページから7ページについては、今回の整備により影響が有るとされる訪問介護・予防訪問介護・通所介護・予防通所介護・小規模多機能型居宅介護・予防小規模多機能型居宅介護の給付の推移となっております。これらを見ますと、延べ利用者数及び事業所収入は、対前年度比では微増しておりますが、平成21年度からの推移で見ますと減少傾向にあります。

それでは、議案2ページにお戻りいただき、4・第6期介護保険事業計画期間中の整備計画の取り扱いについて、になりますが、先ほどご説明いたしましたとおり、小規模多機能型居宅介護サービス及びそれに類似する各サービスの事業状

況は若干増加傾向にあるものの、平成27年度介護報酬改定の影響が大きく、改定前の平成26年度対比の事業収入は、訪問介護については約マイナス14%、通所介護については約マイナス10.3%、小規模多機能型については約マイナス8.5%と、未だ大幅な減収となっております。認定者につきましても年々増加傾向にはありますが、大きなサービス利用とはなっておらず、利用サービスの急激な拡大は見込めない状況にあります。このような中、新たな事業所の整備は、各サービス事業所の事業運営に多大な影響を及ぼす事が懸念されます。

以上を勘案し、町といたしましては、第6期介護保険事業計画中に小規模多機能型居宅介護の整備を計画しておりましたが、現時点では、既存の町内事業所の存続可能な事業運営の確保を図ることが重要と考え、今計画中の整備は見送らざるを得ないと判断致しました。

なお、今後のサービス利用の推移等により第7期介護保険事業計画策定時に必要性について検討してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

○会長より

ただ今の事務局の説明について、質問、意見等ございましたら発言願います。

○委員より

【別紙資料1】の5ページ、八雲町全体のサービス給付費の推移について、通所介護・予防通所介護の平成28年度の給付費について、八雲町外の事業所も含まれているのかご教示いただきたい。

○事務局より

町内事業所だけでなく、八雲町被保険者の給付費となるので、八雲町外の事業所も含まれる金額となっております。

○委員より

町内事業所分と町外事業所分の内訳について町で把握していればご教示いただきたい。

○事務局より

現時点で、把握はしておりません。

○委員より

先ほどの事務局の説明で、要支援・要介護認定者数は年々増加している傾向にある割に事業所の利用が少ないと説明していたが、町では要因を把握しているのか、ご教示いただきたい。

○事務局より

要支援・要介護認定者数については、増加傾向にあるもののサービス利用が増加していないことについて、様々な要因があるかと思われるが、直接アンケート等で集計してはいない状況であり、明確な理由は把握しておりません。ただし、要支援・要介護認定時においてサービス利用のご希望について、確認を必ず行っております。

○委員より

先ほどの事務局の説明で、事業所の経営が厳しい状態だという説明があったが、

例えば、高齢の方々の経済的状況から利用できないものなのか、サービス内容の理解が足りず利用できない方もいるのかなと考えている。事業所の経営にとってももう少し利用してもらおうような手段なり、サービス内容の浸透が足りないような気もするがどのように考えているか。

○事務局より

65歳以上の方の第1号被保険者一人ひとりに直接アンケート等で調査を行ってはいない状況であり、具体的な結果は把握しておりませんが、要支援・要介護認定を受けている中でサービスを利用していない要因のひとつとして考えられるのは、病院に入院している方で退院の見込みが薄い方にも一律認定を受けてくださいと勧奨しているということが一つあります。

また、先ほどのお話にありました、経済的状況から利用できないというお話も全く耳にしないという事ではございませんが、現時点では、はっきりと断定できない状況であります。

なお、要支援・要介護認定者でサービスを利用していない方につきましては、地域包括支援センターの職員が定期的に訪問し、サービスにつながるかどうか含め、状況の確認を行い、少しでもサービス利用につながるよう対応し、努めているところです。

そして、要支援・要介護認定申請については、サービス利用が必要な人だけでなく、何かあった時のために申請・認定をされている方もいらっしゃる状況です。そのような方は認定時のサービス利用希望についてお伺いしたときに、今は利用しないと回答をされ、認定者全体の中では3割程度おられます。

例えば、親御さんが八雲町在住で遠く離れて暮らすお子さん等が何かあった時にすぐサービス利用できるように申請をしておくといった話をお聞きするので、今すぐサービス利用が必要な方全員が認定を受けているわけではないという状況につきましてもご理解いただければと思います。

○委員より

今後、いずれにしても高齢者人口が増えていくので、事業所としての営業が厳しいということも、少しでも利用していただくことによって若干でも経営的には、好転していくことから、すぐサービス利用するという事ではなくとも、町には、町内事業所の経営のことも考えながら、また利用する高齢者のことも考えながらアドバイスをしていただき、これからの事業を進めていただきたい。

○事務局より

今後の人口推計によると65歳以上人口のピークが平成31年あたりでそこから減少傾向となっていく推計となっております。ただし、高齢化率はここ数年1%ずつ伸びている状況にあります。

なお、来年度には第7期の介護保険事業計画を策定していくこととなりますので、高齢者や事業所等の状況を勘案しながら、計画を策定していきたいと考えております。

○会長より

他に何か質問等ございますか。

(質問等なし)

4. その他

○会長より

その他について何かございますか。

○事務局より

議案3 ページ、4、その他について、であります。次回の介護保険事業運営委員会の開催については、平成29年6月を予定しております。来年度は介護保険事業計画策定年度であることから、年4・5回程度の開催を予定しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

5. 閉会宣言

○会長より

以上をもちまして、平成28年度第3回八雲町介護保険事業運営委員会を閉会致します。